

第7回 鬼怒川・小貝川上流域大規模氾濫に関する 減災対策協議会

令和2年度の取組及び今後の取組について

1) ハード対策の主な取組

■ 洪水を河川内で安全に流す対策

- 護岸整備(河岸侵食対策)等
- ✓ 鬼怒川の護岸整備(河岸侵食対策)等

【国の取り組み】

関東地整

■ 石井出張所管内 下流部河道整備工事



下館河川

1) ハード対策の主な取組

■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- 雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備
 - ✓ リスクが高い区間の水位情報をリアルタイムで自治体へ伝送する環境をH28年度～整備
 - ✓ サーバー増設により鬼怒川・小貝川59箇所のライブ映像を配信

【国の取り組み】令和3年2月現在

関東地整

関東地整

CCTVカメラの配信継続(全59箇所)

<下館河川事務所HPにて配信中>



クリックすると・・・



ライブカメラ



平常時の様子



1) ハード対策の主な取組

■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- 簡易水位計や量水標、簡易型河川監視カメラの設置
- ✓ 簡易水位計や量水標、簡易型河川監視カメラを整備し、配信中

【国の取り組み】令和3年2月現在

関東地整

関東地整

○ 簡易水位計 59箇所設置

簡易水位計設置位置

- 既設
- H30新設



簡易水位計観測のデータは、関係市町に提供を行う。
(観測範囲: 堤防天端から約4~5m程度)



2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

- 水防災に関する説明会の開催
- ✓ 水防災に関する説明会を開催する

【国の取り組み】

関東地整

○ 出水期に係る対応等に関する連絡会・意見交換会を開催



出水期に係る対応等に関する連絡会（※写真はR元年度開催時）

首長との意見交換会（トップセミナー）
上三川町

- ・水防災の意識の共有・再確認を図るため「関係機関向け説明会」を開催
- ⇒ 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「出水期に係る対応等に関する連絡会」は資料発送による開催としました
- ⇒ R2. 6. 25から関係市町を対象に首長との意見交換会（トップセミナー）を実施

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●出前講座等を活用した講習会の実施

✓出前講座等を活用し、水防災意識を高めるための講習会を実施する。

【国の取り組み】

関東地整

『マイ・タイムライン作成講座を、YouTubeで生配信』

【概要】一人ひとりの家族構成や生活環境にあった自分自身の防災行動計画「マイ・タイムライン」を作る講座を新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、YouTubeで生配信しました。

【開催日時】令和2年9月5日（土）11時～約40分

【講師】常総市出身の防災芸人赤プル（マイ・タイムラインリーダーA級）



YouTube生配信の様子

『マイ・タイムラインリーダー認定講座(オンライン)を開催』

【概要】早期避難・逃げ遅れゼロの大切さをより多くの方々に再度知ってもらえるようにマイ・タイムラインリーダー認定講座を開催しました。初めてお天気キャスターを講師に招き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、オンライン（ZOOM）で実施。

【開催日時】令和2年11月28日（土）

①10時～、②13時～

【講師】お天気キャスター 菊池 真以さん



菊池講師による認定講座



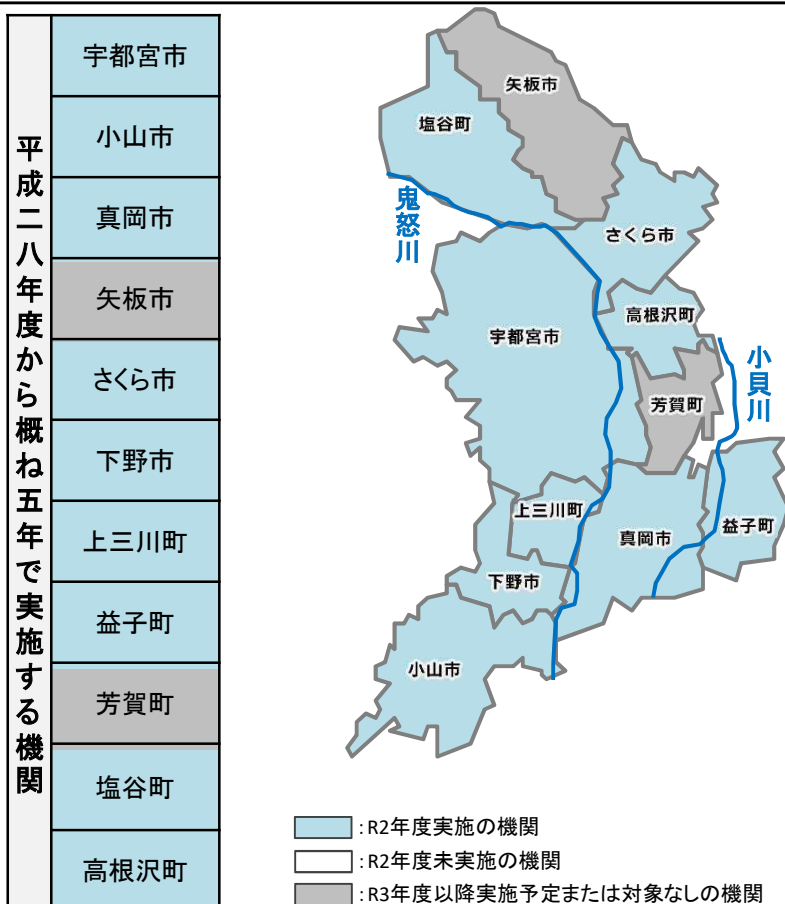
ハザードマップの説明(常総市)

2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

- 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検
✓毎年、国が実施している重要水防箇所等の共同点検に参加

【令和2年度実施状況】



【具体事例】

沿川市町、栃木県、気象庁、関東地整

水防災の意識の共有・再確認を図るため、水防団、市町、栃木県、国が連携し、一般市民も参加した現地での「共同点検」を実施
※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から資料発送による開催としました。(写真はR元年度開催時)



鬼怒川ダム

1) ハード対策の主な取組

■ダム等の危機管理型の運用・ダムに係る情報提供について

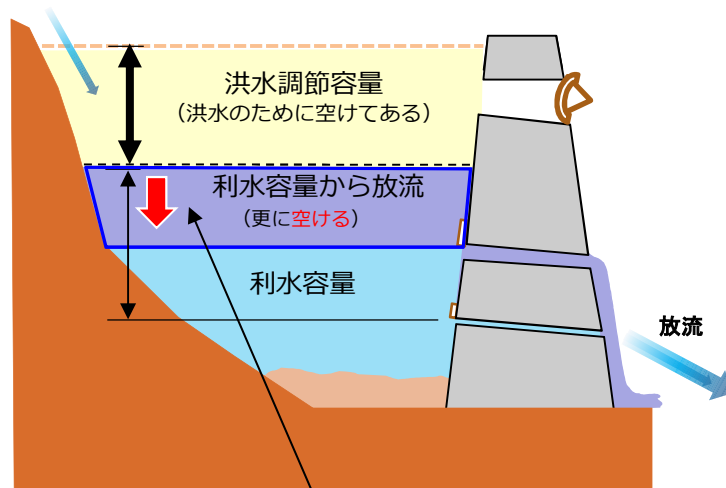
- 事前放流の実施による治水容量の増強及び、鬼怒川4ダムの放流情報をイラストとライブカメラ映像で提供。

【国の取り組み】

関東地整

【事前放流】

大規模な洪水が予想される場合に、ダムに通常確保している洪水調節容量に加え、水利用のための利水容量の貯水を放流して、一時的に洪水調節容量に利用する取り組みを鬼怒川では13ダムで実施。



利水容量を一時的に使用

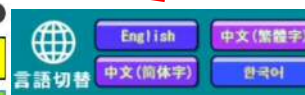
■詳しくは、鬼怒川ダム統合管理事務所ホームページをご確認ください。
<https://www.ktr.mlit.go.jp/kinudamu/kinudamu00729.html>

鬼怒川4ダムのリアルタイム情報が確認できます。



鬼怒川ダム統合管理事務所HP: <https://www.ktr.mlit.go.jp/kinudamu/>

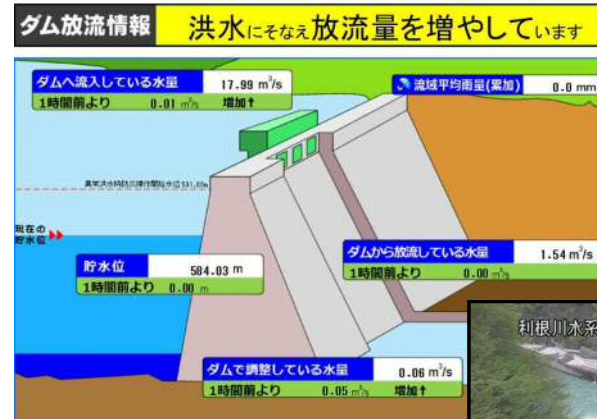
鬼怒川4ダムのリアルタイム情報



言語切替で選択することで
ダム情報も多言語化されます。

●五十里ダム

2020/05/04 13:00 現在



ダム周辺に設置されているカメラのライブ映像も確認できます。



1) ハード対策の主な取組

■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

● 防災ラジオの整備

令和2年度の取組状況

- 情報伝達体制の強化を図るため、昨年6月から防災ラジオの運用を開始しており、令和2年度については広報誌や地域の方々が集まる会議や出前講座等の機会を活用し、普及促進を図っており、着実に利用者が増加している。



令和2年2月から
対象者拡大!

緊急告知機能付
もしもの時にも安心
宇都宮市「防災ラジオ」購入補助制度

大きな地震や洪水、土砂災害などが発生しそうなとき、
弾道ミサイルが飛来したときなど エフエム栃木1レディオベリー 76.4MHzで放送

ラジオをつけていなくても、他の放送を聞いていても、自動的にLEDライトが点灯し、大音量で緊急放送が流れます。
また、ディスプレイに緊急情報の経緯（風水害など）が表示されます。

■ 緊急放送の例 ■
本日〇時〇分、宇都宮市〇〇町に「避難準備・高齢者等避難開始」が発表されました。土砂災害が発生する恐れが広がっていますので、いつでも避難できる準備をしてください。避難に時間がかかる方は避難を開始してください。
通常のFM・AMラジオ放送も聞くことができます。

補助対象者 電線で断る不安も安心!
宇都宮市内に住所があり、市税の滞納がなく、
● メールを受信できる携帯電話等を持たない方
● 携帯電話等を持っていても登録防災情報メールを利用できない方

販売価格（税込）
14,300円
補助金額
10,700円
自己負担額（税込）
3,600円
(消費税10%のとき)

裏面の申請書に記入し、送付用の封筒で下記へ郵送ください。
受付後、市から購入券を送付します。
購入券と自己負担額を添えて、指定販売店でお求めください。

販売店
エフエム栃木1レディオベリー
指定販売店
エフエム栃木1レディオベリー
宇都宮市中央1-2-1
TEL 028-599-7640
市役所

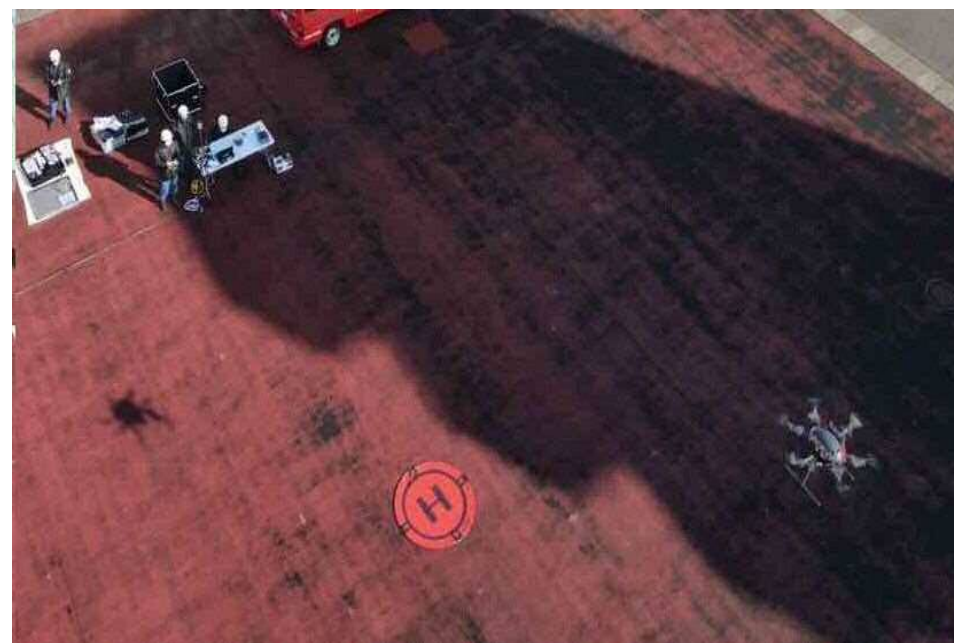
1) ハード対策の主な取組

■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

● 情報収集活動用ドローンの配備

令和2年度 of 取組状況

- 市消防局に情報収集活動用ドローンを令和3年1月末に配備する。
- 消防隊員が立ち入ることが困難な場所の情報収集活動を充実させることが可能であり、被害状況の把握、負傷者や要救助者の捜索に活用する。
- 音声伝達システムによる広報活動が可能である。
- 市災害対策本部や消防局への映像伝送が可能のため、局本部と現場が一体となった災害への早期対応が実施可能である。



2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

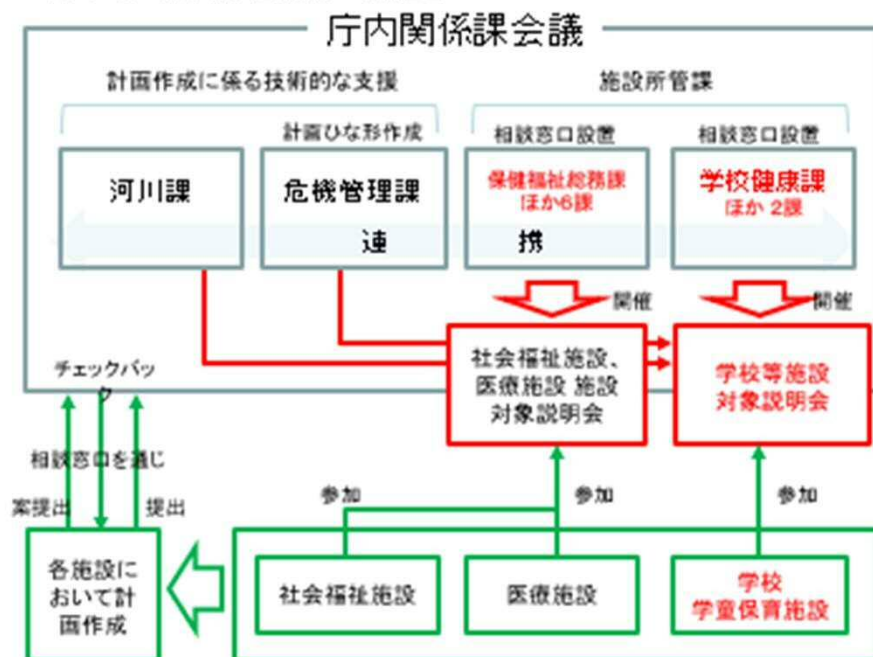
■ ハザードマップの作成・周知等

● 要配慮者利用施設の避難計画の検討・作成及び管理者への周知・啓発

令和元年度の取組状況

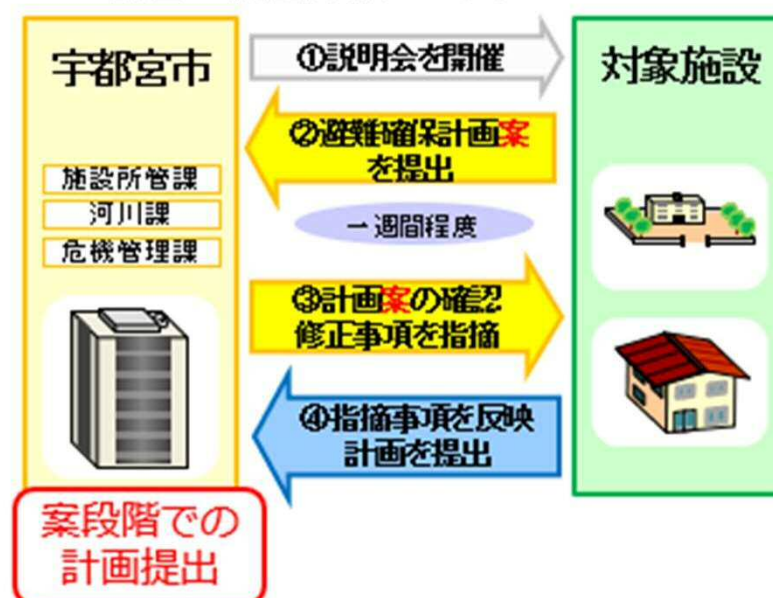
○ 関係部局が連携し、要配慮者利用施設への避難確保計画の作成・報告の支援体制を構築している。
 ○ 令和元年東日本台風の際には、各施設が計画に基づき、適切な避難行動を実施した。

< 庁内関係課会議を設立 >



施設に対して効果的な助言・はたらきかけ

< 計画の提出方法に工夫 >



避難確保計画の作成状況
 (令和2年3月末時点) **100%(100/100)**

2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

● 水防災に関する説明会の開催

令和2年度の取組状況

- 各種団体や地域住民に対し、風水害対策に関する防災出前講座や研修・訓練等を実施
 - ※ 26件, 1035人に実施(令和2年中)
 - 【内容】災害対応に関する地域との連携及び避難所開設・運営について



2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

●自主防災組織の促進及び支援等の検討

令和2年度の取組状況

- 自主防災会連絡会議を令和2年7月14日(火)に実施した。
【議事】災害対応に関する地域との連携及び避難所開設・運営について
- 地域まちづくり推進協議会全体会議を令和8月26日(水)に実施した。
【議事】災害対応に関する地域との連携及び避難所開設・運営について
- 各自主防災会役員・リーダーに向け、映像資料(DVD)配布による研修を実施した。
【内容】災害対応に関する地域との連携



2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ ハザードマップの作成・周知等

- 要配慮者利用施設の避難計画の検討・作成及び管理者への周知・啓発
- ✓ 要配慮者利用施設への避難計画の検討・作成及び管理者への周知啓発

令和2年度の実績

- 障がい者福祉部局(福祉課)や高齢者福祉部局(地域包括ケア推進課)、保育所担当部局(こども課)と情報を共有し、要配慮者利用施設の避難確保計画の作成をH29年度から継続して促している。(鬼怒川流域の地区の対象施設は過年度において提出済みのため、R2年度は提出無し)

【令和2年度の実績】

受付日	施設名
令和2年6月11日	プラス・Aデイサービスセンター
令和2年8月21日	CSWおとめ
	共同生活援助事業所 思川桜Ⅰ
	共同生活援助事業所 思川桜Ⅱ
	グループホームモンパレス 小山第一号館
	グループホームモンパレス 小山第二号館
	グループホームモンパレス 小山第八号館
	いちごの里 めぶきファーム
	障がい者福祉ホーム あおぞら
令和2年8月26日	グループホームあおやま 大行寺1号店
令和2年8月27日	放課後等デイサービスかな

【様式編】

洪水時の避難確保計画

【施設名： 】

平成 年 月 日 作成

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●小中学生を対象とした防災教育の実施及び教員へのサポート

✓小学生を対象に防災教育の実施や授業への組み込みの際の教員へのサポートを実施

令和2年度の実施状況

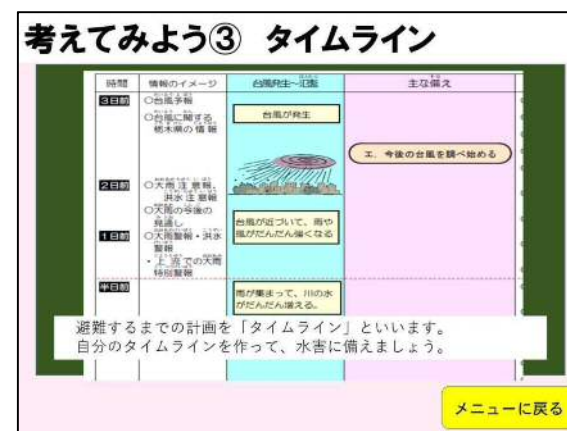
- 例年、過去に水害を受けた経験のある地域の小学校を会場に、夏休みに「防災宿泊学習」を行っていたが、コロナウイルスの影響により、実施することができなかった。
- 防災宿泊学習の代替として、会場の候補小学校であった網戸小学校向けの教材を市教委で作成・提供し、学校の授業等で活用していただくこととした。(令和3年1月に5年生で実施予定)
- 教材の内容としては、水害の起こり方、網戸地区の水害の危険性、避難するための準備等について学び、マイ・タイムラインを作成していくものである。(「マイ・タイムライン」については、下館河川事務所作成資料を参考にした。)その他、防災グッズづくりや防災クイズなどもあり、授業や避難訓練後の振り返り等でも活用を図れるようにしている。



防災教材のメニュー画面



地域の水害の危険性を学ぶ画面の例



マイ・タイムライン作成について学ぶ画面の例

2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 共助の仕組み強化のための取組

● 地域包括支援センターにハザードマップの掲示や防災関連のパンフレット等を設置

✓ 地域包括支援センターにハザードマップの掲示や避難訓練のお知らせ等のパンフレット等を設置

令和2年度の取組状況

- 地域包括支援センターを所管する小山市地域包括ケア推進課に協力を依頼し、市内の地域包括支援センター全てに栃木県危機管理課が作成した「5段階の警戒レベルの周知チラシ」及び、下館河川事務所が作成した「豪雨への備えは万全ですか？」を設置し、風水害時における高齢者等の避難に関して注意喚起を行った。

保存版 家庭内に掲示してご活用ください

適切な避難で 命を守る!

基本の考え方

- ① 避難とは**難**を避けることです。安全な場所にいる人は避難場所に行く必要はありません。
- ② 安全な場所にある親戚・知人宅なども避難先として検討してください。感染症拡大防止の観点からも重要です。
- ③ 危険な状況になる前に安全な場所へ移動してください。

STEP 1 「5段階の警戒レベル」を知っておきましょう!

警戒レベル	取るべき行動	避難情報等	警戒レベル相当情報(例)
レベル1	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁が発表)	自然が直接的に避難行動を誘発する恐れが低い(国土交通省が発表)
レベル2	避難行動を確認	大雨・洪水注意情報(気象庁が発表)	
レベル3	危険な場所にいる場合避難に時間を作る方は 避難を開始!	避難準備高齢者等避難開始(市町村が発表)	・大雨警報 ・洪水警報 ・氾濫警戒情報 など
レベル4	危険な場所にいる場合 全員速やかに避難!!	●避難勧告 ●避難指示(緊急)(市町村が発表)	・氾濫危険情報 ・土砂災害警戒情報 など
レベル5	命を守る最善の行動	災害発生情報(市町村が発表)	・氾濫発生情報 ・大雨特別警報 など

レベル4で危険な場所から全員避難完了!

必ずこの順番で発表・発生されるとは限りません。これらの情報が発表されていなくても、身の危険を感じたら避難を開始してください。日頃から、気象庁の発表する情報を確認しておきましょう。

水防災意識社会の再構築を目指して

豪雨へのそなえは万全ですか?

もう家ない、とは言い切れない最近の雨の降り方。自分と大切な人のいのちを守るためにもう一度、洪水へのそなえを見直しましょう。平成27年9月関東・東北豪雨の経験を活かして、逃げ遅れゼロを目指して...



みんなで意識を高め、豪雨にそなえましょう。

CONTENTS

- ・あの日を振り返ってみよう
- ・地域の取り組みを知っておこう
- ・家族や地域でマイ・タイムラインをつくろう
- ・地域の水害リスクを知っておこう
- ・洪水時に得られる情報と、その意味を知っておこう
- ・普段から荒瀬川・小貝川に関する情報に触れておこう



2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 共助の仕組み強化のための取組

- 地域包括支援センターにハザードマップの掲示や防災関連のパンフレット等を設置
 ✓ 地域包括支援センターにハザードマップの掲示や避難訓練のお知らせ等のパンフレット等を設置

令和2年度の取組状況

- 地域包括支援センターを所管する小山市地域包括ケア推進課に協力を依頼し、市内の地域包括支援センターに小山市洪水ハザードマップを掲出し、風水害時における高齢者等の避難に関して注意喚起を行った。



2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 災害を我がことと考えるための取組

- 水防災意識強化週間における集中的な水防災に関する普及・啓発活動の実施
 ✓ 水防災意識強化週間に水防災に関するパネル展を実施

令和2年度 of 取組状況

- 水防災に関する周知のため消防本部2階危機管理課前に水防災意識週間に関するポスターを掲出し意識啓発を図った。
 (令和2年度の小山市水防訓練において周知を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため訓練を中止としたため会場での周知は行わなかった。)



2) ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

●自主防災組織の促進及び支援等の検討

✓地域の住民が協力し合う自主防災組織の普及の促進及び支援等の検討の実施

令和2年度の取組状況

- 地域防災力を高めるために、順次、市内の自主防災会の設立支援を行い、下記の4つの団体が設立された。令和2年12月末日時点で延べ56の団体が設立された。各自主防災会では、災害に備えて資機材を配備しており、各地域における災害に対する備えを強化している。

2020年5月10日 喜沢中部自主防災会設立

2020年5月16日 喜沢東部自主防災会設立

2020年5月17日 下梁・西梁地区自主防災会設立

2020年12月13日 泉ヶ丘自主防災会設立



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■災害を我がことと考えるための取組

真岡市防災リーダー養成研修のカリキュラムの一環として、受講者に対し、マイ・タイムライン作成講座を実施した。

令和2年度の実施状況

○地域における防災のリーダーを育成する真岡市防災リーダー養成研修にて、地域の水害に関するリスクと避難行動に必要な知識を身に着けるため、マイ・タイムライン作成講座を実施した。

期日：令和2年10月10日(土)

会場：真岡市役所 401会議室

対象者：真岡市防災リーダー養成研修受講者 17名



1) ハード対策の主な取組

■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

防災行政無線の改良、防災ラジオの配布等の整備

令和2年度 of 取組状況

防災行政無線による情報伝達をさらに充実するため、市内希望者に戸別受信機を配布するため、既設防災行政無線の改良を実施。

戸別受信機については、令和2年度2000台配布を予定

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ハザードマップの作成・周知等

令和2年度 of 取組状況

防災マップを改定し、矢板市防災ハザードマップとして作成。
従来の防災マップは1枚紙のため、無くしやすい、また、縮尺が大きいいため見にくい、との声があったため、冊子型とし、縮尺も見直した。防災に関する情報も掲載するなど、見やすく、使いやすいマップに改良し、7月に全戸配布を行った。

1) ハード対策の主な取組

■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

○ 防災行政無線の改良、防災ラジオの配布等の整備

令和2年度 of 取組状況

○ 防災行政無線の戸別受信機貸出を実施

防災無線子局より500m以上離れているなど一定条件を満たす世帯から申請により無償貸与



戸別受信機

防災行政無線戸別受信機をお貸しします

防災行政無線の放送内容を屋内で確認できる戸別受信機を、以下の方へ無償でお貸しします。

【戸別受信機貸与対象者】

市内の無線スピーカーより概ね半径500メートルの範囲外にお住まいの方や、75歳以上の高齢者のみの世帯、障がいをお持ちの方、自主防災組織の代表者など

※詳しい条件についてはお問い合わせください

無償貸与を希望される方は、電話にてお問い合わせください。

問い合わせ先 総務課 681-1111

※スピーカーから半径500メートル以内で対象にならない方は、下記電話番号にて最新の放送内容が確認できますのでご利用ください。

戸別受信機

放送内容確認電話

- ・ 固定電話から
0120-396-889
- ・ 携帯電話から
028-681-6711

令和2年11月に行政区回覧にて周知

2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ ハザードマップの作成・周知等

○ まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充
浸水想定深表示板の設置

令和2年度 of 取組状況

・ 喜連川地区市街地の電柱に70ヶ所浸水想定深表示板を設置



想定される浸水想定深(最大)を表示し、実際の高さに青いテープを巻いています。

2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

○ 出前講座等を活用した講習会の実施
地域の行政区長で防災講座の実施

令和2年度の取組状況

○ さくら市区長会において、自主防災組織、「地区防災計画、我がまち防災マップ」の説明を実施

- ・ 実施日時 : 令和2年11月10日
- ・ 参加対象 : 自治会の区長
- ・ 参加人数 : 47名
- ・ 主な研修内容
 - ・ 自主防災組織について
 - ・ 地区防災計画について
 - ・ 我がまち防災マップについて

地区防災計画と我がまち防災マップ

地区防災計画：地域のマニュアル兼引き継ぎ書

- ▶ 災害時、自分たちの地域は「いつ、なにを、だれが、どうする」かをまとめた計画です。
- ▶ 役員交代があっても、この計画を引き継ぐことで「何からすればいいの？」を解消できます。
- ▶ 栃木県の支援を受けて、喜連川中央行政区と蒲須坂行政区にモデル計画を策定予定です。
- ▶ 令和3年度以降、全ての地区で自主防災組織が設立され、防災計画が策定される事を目標に、広報活動を予定します。

我がまち防災マップ：地域に特化したハザードマップ

- ▶ さくら市防災ハザードマップは、国・県が管理する大きな河川や土砂災害の発生が予想される急傾斜の危険区域が表示されていません。
- ▶ 狭い道路（倒壊で通行不可となる）や、用水路（落ちたら危険）等の情報を加えて地元の様々なリスクを把握しましょう。避難経路を決めておくと、災害時に慌てず避難が可能です。
- ▶ 地区防災計画と併せて作成する（整合性を図る）ことが大切です。

当日資料（一部抜粋）



説明会写真

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■災害を我がことと考えるための取組

○ハザードマップの訓練等への活用
地域の実情にあわせた防災計画の作成

令和2年度の取組状況

- 地域の実情にあわせた地区防災計画の作成を実施
- ・ 対象行政区: 蒲須坂行政区、喜連川中央行政区
 - ・ 実施内容: 全4回(講演、避難所運営ゲーム、防災図上訓練)
 - ・ 参加人数: 延べ約120名



基調講演



グループワーク

2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 災害を我がことと考えるための取組

○ハザードマップの訓練等への活用
防災まち歩きの実施及び我がまち防災マップの作成

令和2年度の取組状況

○防災まち歩きの実施

ハザードマップに掲載されている危険箇所や記載されていない、小さな水路やがけ、倒木の可能性など、避難経路の確認などを行った。

○我がまち防災マップの作成

防災まち歩きをもとに地域の防災マップの作成を行った。



防災まち歩きの様子(喜連川中央行政区)



我がまち防災マップ(蒲須坂行政区)

2) ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

○自主防災組織の促進及び支援等の検討

令和2年度 of 取組状況

- 各自主防災組織に対して、設立後1度のみ50万円を上限として資機材等の購入を支援。
- 各年度ごとに3万円を上限として活動の支援を実施。

横町自主防災組織 防災資機材一覧

① 携帯用ラジオ:2台



② ヘルメット:10個



③ 消火器:2本



④ ブルーシート:10枚



自主防災組織資機材購入例(横町行政区)

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●ハザードマップの訓練等への活用

✓ハザードマップを活用した自主防災組織等による避難訓練の実施

令和2年度の取組状況

○鬼怒川と田川の水量が増水し、警戒レベル3になったと想定し、河川流域の地区(鯉沼地区・川島地区)を対象に、避難訓練及び避難所開設訓練を実施した。

実施日:令和2年8月3日(月)午前9時から正午まで

場 所:ふれあい館(第1避難所) 下野市三王山698-5

参加者:鯉沼自治会	5名	川島自治会	14名
下野市消防団	2名	避難所担当職員	13名
保健師	3名	ふれあい館職員	3名
災害協力協定締結業者	3名(セッツカートン株式会社)		
市民生活部長	1名	安全安心課職員	5名

合計 47名

内 容:①避難所開設準備訓練

②避難訓練

③講話(下野市避難所運営マニュアルに沿って)

④避難者受け入れ訓練

⑤避難所割り振り訓練

⑥資機材取り扱い訓練(段ボールベッド、パーテーション、避難ルーム、簡易ベッド)



避難者受入訓練の様子

2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

●マイタイムライン作成講座の実施

令和2年度 of 取組状況

小学生を対象としたマイタイムライン作成講座を実施し、水害に対する防災知識の普及を行った。

○期日：令和2年10月26日(月)

○場所：坂上小学校

○参加人数：4年生18名



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●防災講座の実施

令和2年度 of 取組状況

防災知識の普及啓発をするため、防災講座を実施した。平常時に備えておいてほしい備蓄物資等の紹介や、タイムラインを使用して避難する際の行動等説明を行った。

○期日：令和2年9月11日（金）

○場所：中央公民館

○参加人数：15名



2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 共助の仕組み強化のための取組

- 自主防災組織による避難所運営図上訓練の実施

令和2年度 of 取組状況

自主防災組織役員を対象に避難所運営を想定した図上訓練(HUG)を実施した。
地域における防災意識の向上(避難所の自主的な運営)を図ることに繋がった。

- 期日: 令和2年9月6日(日)
- 場所: 役場大会議室
- 参加人数: 32名



2) ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

●災害図上訓練の実施

令和2年度の取組状況

風水害を想定した図上訓練を実施した。訓練では、避難情報の発令や道路冠水等に伴う職員の対応など、様々な状況を付与することで、職員の災害対応力向上を図った。

○期日：令和2年7月21日(火)

○場所：役場中会議室

○参加人数：35名



2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 災害を我がことと考えるための取組

水防災意識強化週間に水防災に関するポスター及びパンフレット掲示

令和2年度の取組状況

9月3日から9月11日において、益子町役場入口ホールで水防災意識強化週間のポスター及びパンフレット掲示した。



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ハザードマップの作成・周知等

●ハザードマップの作製・周知

✓洪水ハザードマップを印刷した「うちわ」を配布し、住民へ周知

令和2年度 of 取組状況

○町内エリア別の洪水ハザードマップを印刷した「うちわ」を作成し、自治会を通じて全戸に配布することで、防災意識の高揚を図った。

2020年10月 全戸配布



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

- 小中学生を対象とした防災教育の実施及び教員へのサポート
- ✓小学生を対象とした防災教育の実施

令和2年度 of 取組状況

○災害の種類や町の取組を説明し、地域での助け合いや自分の命は自分で守ることの大切さについて授業を行った。

2020年10月29日 芳賀北小学校 4年生



2)ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

- 自主防災組織の促進及び支援等の検討
 - ✓町と自主防災組織の合同による防災訓練の実施

令和2年度の取組状況

○大規模災害の発生を想定し、町災害対策本部と自主防災組織による合同防災訓練を実施し、情報伝達訓練や避難所開設訓練を行った。

2020年10月4日 町及び14自主防災組織



1) ハード対策の主な取組

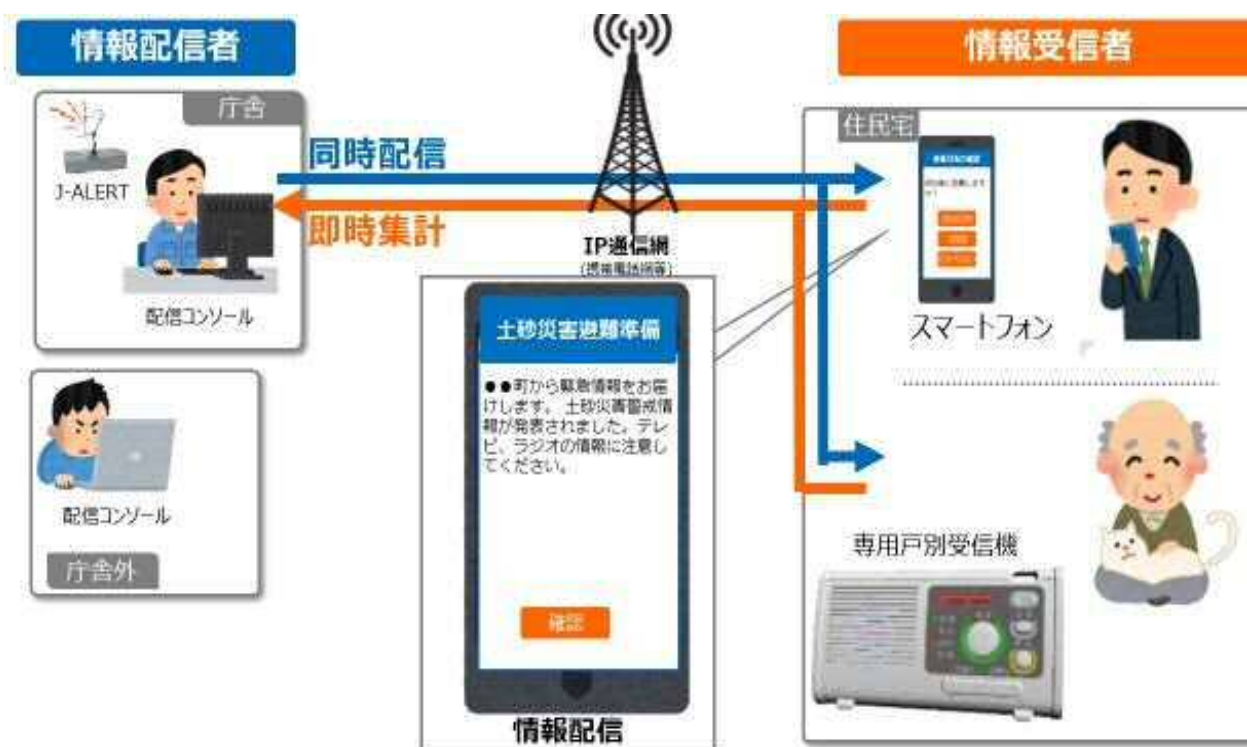
■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- 防災行政無線の改良、防災ラジオの配布等の整備
- ✓ 防災行政無線の改良、防災ラジオの配布等の整備

令和2年度 of 取組状況

○ 防災行政無線の屋外スピーカーを補完するシステムの導入

- ・ 戸別受信機の貸与(約400台)(今後も継続)
- ・ スマートフォンアプリへの情報配信



2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ ハザードマップの作成・周知等

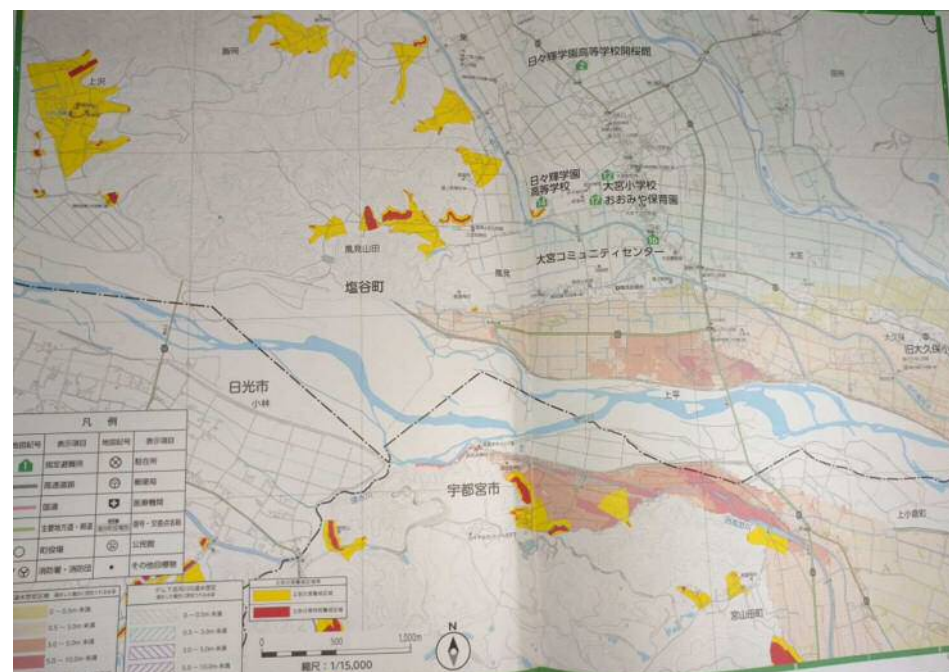
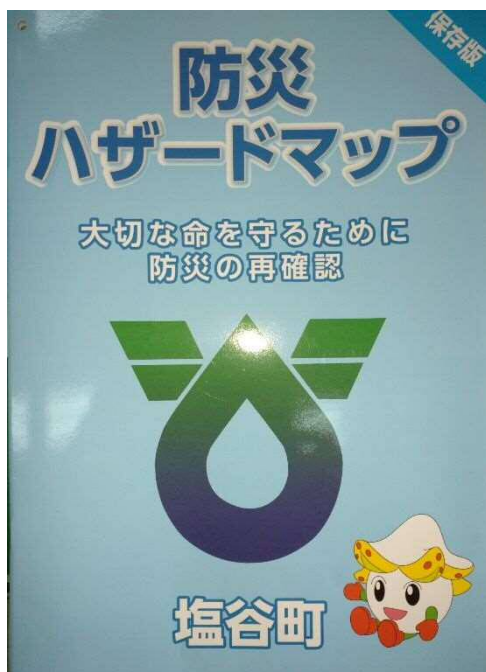
● ハザードマップの作成・周知

✓ 想定最大外力にもとづいた洪水を対象に、洪水ハザードを策定する

令和2年度 of 取組状況

○ 防災ハザードマップの作成、周知

- ・ 鬼怒川浸水想定区域図
- ・ 荒川(県管理河川)の上流部のダム放流時の浸水想定図
- ・ 土砂災害警戒区域 等掲載



2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

- 小中学生を対象とした防災教育の実施及び教員へのサポート
 - ✓ 小中学生を対象に防災教育の実施や授業への組み込みの際の教員へのサポートを実施

令和2年度の実施状況

小学校4年生の社会科の授業時に、町の防災対策と題して出前講座を実施



2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組**■ 共助の仕組み強化のための取組**

- 地域包括支援センター・ケアマネジャーと連携した水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた取組の実施
 - ✓ ケアマネジャーへハザードマップ等の説明の実施

令和2年度 of 取組状況

ケアマネジャー、地域包括支援センター職員を対象に、ハザードマップや戸別受信機の説明会を行い、高齢者等への周知を図った。



2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 災害を我がことと考えるための取り組み

- 水防災意識強化週間における集中的な水防災に関する普及・啓発活動の実施
水防災意識強化週間に水防災に関するパネル展を実施

令和2年度 of 取組状況

パネル展の実施

8月28日から9月10日

道の駅湧水の郷しおや



2) ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

- 関係機関が連携した実働水防訓練の検討・実施

令和2年度の水防訓練状況

・水防訓練(土のう)作成

令和元年東日本台風時に土のうが不足したことから、
出水期前に消防団の訓練として、
町内3箇所で土のうを作成し備えた。



1) ハード対策の主な取組

■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

● 防災無線デジタル化工事の実施

✓ 避難所間の情報ネットワークの強化、要配慮者等への戸別受信機の無償貸与等により避難行動の促進

令和2年度の取組状況

- 令和元年度から令和2年度にかけて防災無線のデジタル化工事を実施。
(令和3年3月完成予定)
- 町役場と町内16カ所ある指定避難所で情報ネットワークを形成し、災害時における避難所間の連絡体制を強化した。
- 屋外拡声子局での防災無線の放送に加えて要配慮者等に対して戸別受信機を無償貸与し、避難に時間がかかる方へ情報提供を迅速に行い避難行動を促進する。

避難所にIP電話や
FAX等を設置



無償貸与の戸別受信機

2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

● 逃げ遅れゼロに向けた防災教育

✓ 町立小中学校の児童生徒を対象に「マイ・タイムライン作成講座」を開催

令和2年度 of 取組状況

○ 町地域安全課の職員が講師となり、町内の小学5年生と中学1年生を対象に「逃げキッド」を使用した「マイ・タイムライン作成講座」を開催。

○ 今年度は、新たにマイ・タイムライン認定講座を受講した町内の防災士が講師となり、作成講座を実施。来年度も開催予定。

2020年7月9日	町立阿久津中学校 1年生対象
2020年8月26日	町立上高根沢小学校 5年生対象
2020年9月11日	町立北小学校 5年生対象
2020年9月16日	町立中央小学校 5年生対象
2020年10月14日	町立東小学校 5年生対象
2020年10月27日	町立北高根沢中学校 1年生対象
2020年12月4日	町立西小学校 5年生対象
2020年2月上旬	町立阿久津小学校 5年生対象



1) ハード対策の主な取組

■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- 危機管理型水位計の設置
 - ✓ 洪水時の河川監視体制の強化

令和2年度 of 取組状況

○ 洪水時のみの観測に特化した危機管理型水位計を設置し、きめ細かく水位観測をすることにより、洪水時の河川監視体制の強化を図り、住民の防災行動に役立てる。

- ・ H30年度 小貝川外18箇所設置
- ・ R1年度 五行川外22箇所設置
- ・ R2年度 五行川外48箇所設置



一級河川五行川 昭和橋(真岡市飯貝)

1) ハード対策の主な取組

■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- 簡易型河川監視カメラの設置
 - ✓ 洪水時の河川監視体制の強化

令和2年度 of 取組状況

○ 常設水位計や危機管理型水位計等の水位情報に加え、画像情報が乏しい中小河川に簡易型河川監視カメラを設置することで、洪水時の河川監視体制の強化を図り、住民の防災行動に役立てる。

- ・ R1年度 五行川外21箇所設置
- ・ R2年度 田川外34箇所設置



一級河川田川 町田橋(下野市町田)



町田橋に設置したカメラの映像(川の水位情報より)
【URL】 <https://k.river.go.jp>

2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

- 出前講座等を活用した講習会の実施
- ✓ 県政出前講座等の実施

令和2年度 of 取組状況

○ 県職員が講師となり、学生や防災士を目指す県民を対象に、県の防災・減災に関する取組などについて説明し、防災・減災に対する理解促進・意識啓発等を図った。

2020年	8月	宇都宮大学の学生	約20名
2020年	11月	宇都宮北高校の学生	約1,000名
2020年	12月	作新学院大学の学生	約10名



2) ソフト対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間確保のための水防活動の取組

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

- 自主防災組織の促進及び支援等の検討
- ✓自主防災組織リーダー育成研修会の実施

令和2年度の取組状況

自主防災組織等の指導的立場にある方を対象とし、知識、技能を習得していただくとともに、その役割についての自覚を高め、地域における自主防災組織活性化のために活躍できる人材の養成のため、講演やグループワークを実施した。

- 第1回 令和2(2020)年 9月29日(火曜日)～30日(水曜日)栃木県庁(宇都宮市)
 第2回 令和2(2020)年10月 8日(木曜日)～ 9日(金曜日)佐野市勤労者会館(佐野市)
 第3回 令和2(2020)年10月15日(木曜日)～16日(金曜日)さくら市喜連川公民館(さくら市)

参加者 合計107名



2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

- 短時間判断等の上流域の特徴を考慮したタイムラインの更新及び実践的な訓練の検討
- ✓ 限られた時間での避難勧告等の判断を行うことを想定した、タイムラインの更新、実践的な訓練の検討

令和2年度 of 取組状況

- 県が市町防災主管課担当を対象に行う「防災気象情報に関する研修会」にて、気象防災ワークショップ(中小河川洪水災害編)を実施。
気象情報を適切に使い、的確なタイミングで防災体制の強化や迅速な避難情報の判断ができるよう基本的な対応を理解。(9月30日)



防災気象情報に関する研修会(R2.9.30: 県庁)



洪水災害を想定しグループワークで防災体制を検討

2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

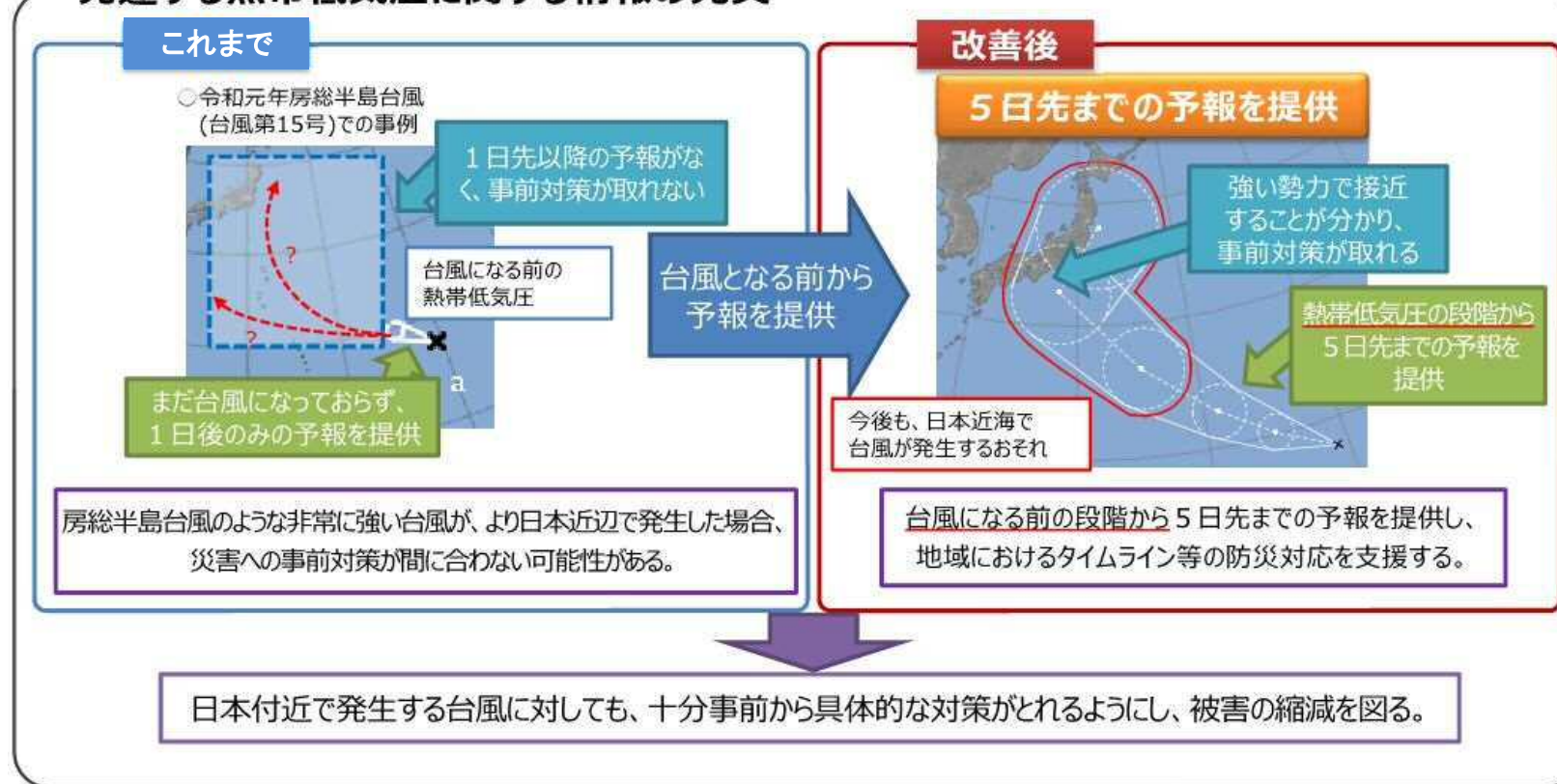
■ 避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

- 気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)

令和2年度 of 取組状況

○ 台風接近時の防災行動計画(タイムライン)に沿った対応を効果的に支援するため、24時間以内に台風が発達する見込みの熱帯低気圧の予報を、1日先までから5日先までに延長(9月9日)

発達する熱帯低気圧に関する情報の充実



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成

●気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)

令和2年度 of 取組状況

大雨特別警報解除後の洪水への警戒呼びかけの改善

鬼怒川洪水予報(臨時)
令和2年〇月〇日〇時〇分
国土交通省 下館河川事務所
気象庁 宇都宮地方気象台 水戸地方気象台 共同発表

「栃木県の大雨は峠を越えたが、河川の増水、氾濫はこれから」

栃木県の大雨は峠を越え、大雨特別警報は警報に切り替わりますが、[鬼怒川の洪水はこれから警戒が必要です / 栃木県、茨城県などに降った大雨による洪水が、これから鬼怒川の下流に到達します]。天候が回復しても、氾濫が発生するおそれがあるため、洪水への一層の警戒が必要です。

きめ がわ
■ 鬼怒川 では、 氾濫発生情報(警戒レベル5相当情報) を発表中です。

河川名	水位観測所	水位状況	今後の見込み
鬼怒川	佐貫(下) (栃木県塩谷郡塩谷町)	氾濫発生中	浸水範囲の拡大に注意
鬼怒川	石井(右) (栃木県宇都宮市)	氾濫危険水位超過	水位上昇中
鬼怒川	川島 (茨城県筑西市)	避難判断水位超過	水位上昇中
鬼怒川	鬼怒川水海道 (茨城県常総市)	今後の水位に留意	水位上昇中

発表中の指定河川洪水予報は下記のサイトからご覧いただけます。
川の防災情報 <https://www.river.go.jp/>
気象庁HP <https://www.jma.go.jp/>

問い合わせ先
水位関係: 国土交通省 下館河川事務所 防災対策室 tel:0296-25-2164 (内線) 591
気象関係: 気象庁 宇都宮地方気象台 tel:028-633-2767
気象庁 水戸地方気象台 tel:029-224-1105

★気象庁ホームページにおける「河川氾濫に関する情報」は「府県気象情報」で確認

大雨特別警報解除後の洪水への警戒を促すため、特別警報の解除を警報への切替と表現

警報への切替に合わせて今後の洪水の見込みについて情報を発表

今後の洪水の見込みを発表し、引き続き洪水の危険があること、大河川においてはこれから危険が高まることを注意喚起

メディア等を通じ住民へ適切に注意喚起



警報への切替に先立って本省庁の合同記者会見等を開催することで、メディア等の協力を得て住民に警戒を呼びかける(SNSや気象情報、ホットライン、JETTによる解説などあらゆる手段で注意喚起)

2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

- 水防災に関する説明会の開催
- ✓ 水防災に関する説明会を開催

令和2年度 of 取組状況

- 台風の接近等に伴う影響や防災上の留意事項等について、台風説明会(気象台・県庁)を開催し関係機関に注意・警戒を呼び掛け解説資料を提供。
(令和2年度 1回実施(資料送付2回))。
- 関係機関と連携した防災対応を行うため、毎年出水期前に防災気象連絡会議を開催。
(令和2年度 7月15日実施)



台風第12号説明会(R2.9.23:気象台)



栃木県防災気象連絡会(R2.7.15:県庁)

2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

- 小中学生を対象とした防災教育の実施及び教員へのサポート
- ✓ 小中学生を対象に防災教育の実施や授業への組込みの際の教員へのサポートを実施

令和2年度 of 取組状況

- 小中学校に職員を派遣し、防災知識に関する普及啓発を実施。(1件)
- 気象台に小中学校の見学を受け入れ、気象や防災に関する説明を実施。(1件)
- 学校や教育機関に職員を派遣し、教員を対象とした防災に関する講話を実施。(1件)



とちぎ子どもの未来創造大学の体験気象学(R2.11.28気象台)



観測機器が置かれた露場で雨量計の仕組みを理解

2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

● 小中学生を対象とした防災教育の実施及び教員へのサポート

✓ 小中学生を対象に防災教育の実施や授業への組込みの際の教員へのサポートを実施

令和2年度 of 取組状況

eラーニング教材「大雨のときにどう逃げる」の提供

～ 台風・豪雨から「自らの命は自らが守る」基本的な知識ととるべき行動を学ぶ

eラーニング教材の特徴

- ・ 時間や場所を気にせず誰でも自由に受講できるよう、気象庁ホームページで公開。
- ・ 5つのステップで、自宅の災害リスク、いつ、どこへ避難すべきか※を学習。
- ・ 各ステップごとのふりかえりテストで、重要ポイントを確認しながら学習。
- ・ 誰でもスムーズに学習できる、動画（各15～20分程度、音声解説付）形式の教材。
- ・ できるだけ一方的な説明・解説を避け、受講者にも一緒に考えてもらう教材。

※ 内閣府が「避難の理解力向上キャンペーン」として全国展開する「避難行動判定フロー」「避難情報のポイント」を基本とする内容
(内閣府公開資料) <http://www.bousai.go.jp/fusuigai/typhoonworking/pdf/houkoku/campaign.pdf>



パソコンやスマホ等で
時間や場所を気にせず
自由に受講
(住民の皆さん)



音声解説付き動画教材
(教材イメージ)

アドレス: <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jma-el/dounigeru.html>

学習する5つのステップ

01. 避難の理解からはじめよう
(避難を行うためのポイントを理解しよう)

02. あなたの家は大丈夫？
(あなたの家の災害リスクを知ろう)

03. どこに逃げたらいい？
(大雨の時の避難先)

04. 避難するときどうする？
(避難にかかる時間を考えよう)

05. いつ逃げたらいい？
(あなたの避難のタイミングを考えよう)

台風・豪雨時に備えて
・ 自宅の災害リスク
・ いつ避難すべきか
・ どこへ避難すべきか
... が学べます。



2)ソフト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■防災教育や防災知識の普及

●出前講座等を活用した講習会の実施

✓出前講座等の要望があれば積極的に参加し、防災知識の普及啓発活動等の支援を実施

令和2年度 of 取組状況

- 防災対応研修会において、気象庁が発表する 防災気象情報について普及啓発を実施。(6月19日上三川町)
- 市民講座等の開催に職員を派遣し、講習会において防災気象情報の普及啓発を実施。(10月7日)
- 自主防災組織の研修会や防災士養成講座に職員を派遣し、防災気象情報の普及啓発を実施。(11月7日、9日)

2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

- 小学生を対象とした防災教育の実施
 - ✓ 小学校の総合学習授業の中で、水災害教育に取り組んでいく

令和2年度の実施状況

「自然災害伝承碑の地図化を通じた災害教訓の周知・普及」の取組

取組目的

国土地理院では、令和元年度から災害教訓の伝承に関する地図・測量分野からの貢献として、過去の自然災害に関する石碑やモニュメントなど「自然災害伝承碑」を地形図等に掲載していきます。これにより、過去の自然災害の教訓を地域の方々に適切にお伝えするとともに、教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指します。

掲載数

協議会	市町村名	掲載数
上流	さくら市	1基
下流	龍ヶ崎市	2基
下流	常総市	6基
	合計	9基

R2.12.16現在

表示イメージ

国土地理院では、令和元年6月から「地理院地図」において、全国各地に建立されている自然災害伝承碑に関する情報（位置や伝承内容など）を公開しています。



概要	
碑名	竣工記念
災害名	キティ台風 (1949年8月31日～9月1日)
災害種別	洪水
建立年	1950
所在地	栃木県さくら市大中
伝承内容	昭和24年(1949)8月31日から翌9月1日にかけてのキティ台風により、鬼怒川の堤防が800mに渡って決壊した。濁流に襲われた大中集落は一夜にして鬼怒川の本流のようになった。第2次世界大戦後の5年に満たない間に発生した、4回目となる洪水であった。

ID:09214-001

2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

- 小学生を対象とした防災教育の実施
 - ✓ 小学校の総合学習授業の中で、水災害教育に取り組んでいく

令和2年度 of 取組状況

地理院地図の使い方を解説する動画を作成、公開

学校の地理・防災教育で活用してもらえよう、国土地理院では「地理院地図」の使い方を説明した動画を作成、公開しました。

地理院地図動画一覧

地理院地図の使い方を動画で解説します

■ 目次

- [地理院地図 基本操作](#)
- [社会・地理教育向け](#)
 - [空中写真](#)
 - [白地図](#)
 - [高さ\(標高\)](#)
 - [土地の成り立ち](#)
 - [地理院地図Vector \(仮称\)](#)
- [災害時の写真や地図を見る](#)
 - [地震\(平成28年熊本地震\)](#)
 - [津波\(平成23年東北地方太平洋沖地震\)](#)
 - [土砂災害\(平成26年広島豪雨\)](#)
 - [洪水\(平成27年9月関東・東北豪雨\)](#)
 - [火山災害\(平成26年御嶽山噴火\)](#)

ここをクリック

洪水(平成27年9月関東・東北豪雨)



洪水時の空中写真や、判読した推定浸水範囲を表示する方法を紹介します。



2) ソフト対策の主な取組 ① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■ 防災教育や防災知識の普及

● 普及・啓発活動

✓ 水災害を風化させないための普及・啓発活動の取組み

令和2年度の取組状況

水防災意識強化週間におけるパネル展示

水防災意識強化週間の普及・啓発活動の取組として、関東地方測量部及び国土地理院「地図と測量の科学館」でパネル展示を行いました。

展示パネル



関東地方測量部



地図と測量の科学館